

「中小企業の景況等実態調査」7月実施 結果概要

相模原商工会議所

相模原商工会議所では、事業継続のための支援策をより効果的に推進するため、市内企業に対して景況等の実態調査を実施した。7月実施の集計結果の概要は以下の通り。

【調査結果のポイント】

- 売上が昨年のこの時期に比べ「50%以上減った」、「10%～50%程度減った」という回答が合わせると45.2%あった。売上が減少したと回答した企業のうち、21.9%が「大震災や円高とは関係なく、景気や嗜好の変化による減少」を理由に挙げている。
- 東日本大震災の影響が自社に残っているかどうかについては、「影響なし」という回答が54.5%であった。一方、「影響あり」という回答が15.6%であったが、そのうち76.9%が「影響が1年以上続く」と回答している。
- 今夏の節電への取組みについて、「取り組んでいる、または取り組む予定」という回答が80.0%であった。
- 今夏の節電への取組みについて「取り組んでいる、または取り組む予定」と回答した企業の節電の効果の見通しについて、45.0%が「昨年と同程度の節電ができる見込み」と回答している。また、取組みの内容について、「使用していないエリアの消灯の徹底」という回答が363件で最も多く、次いで「空調の温度設定引き上げ」の285件であった。

【調査要領】

- 調査期間：平成24年7月10日～7月31日
- 調査対象：相模原市内の事業所約4,500社
- 調査方法：郵送及びインターネットによるアンケート方式
- 回答数：666社

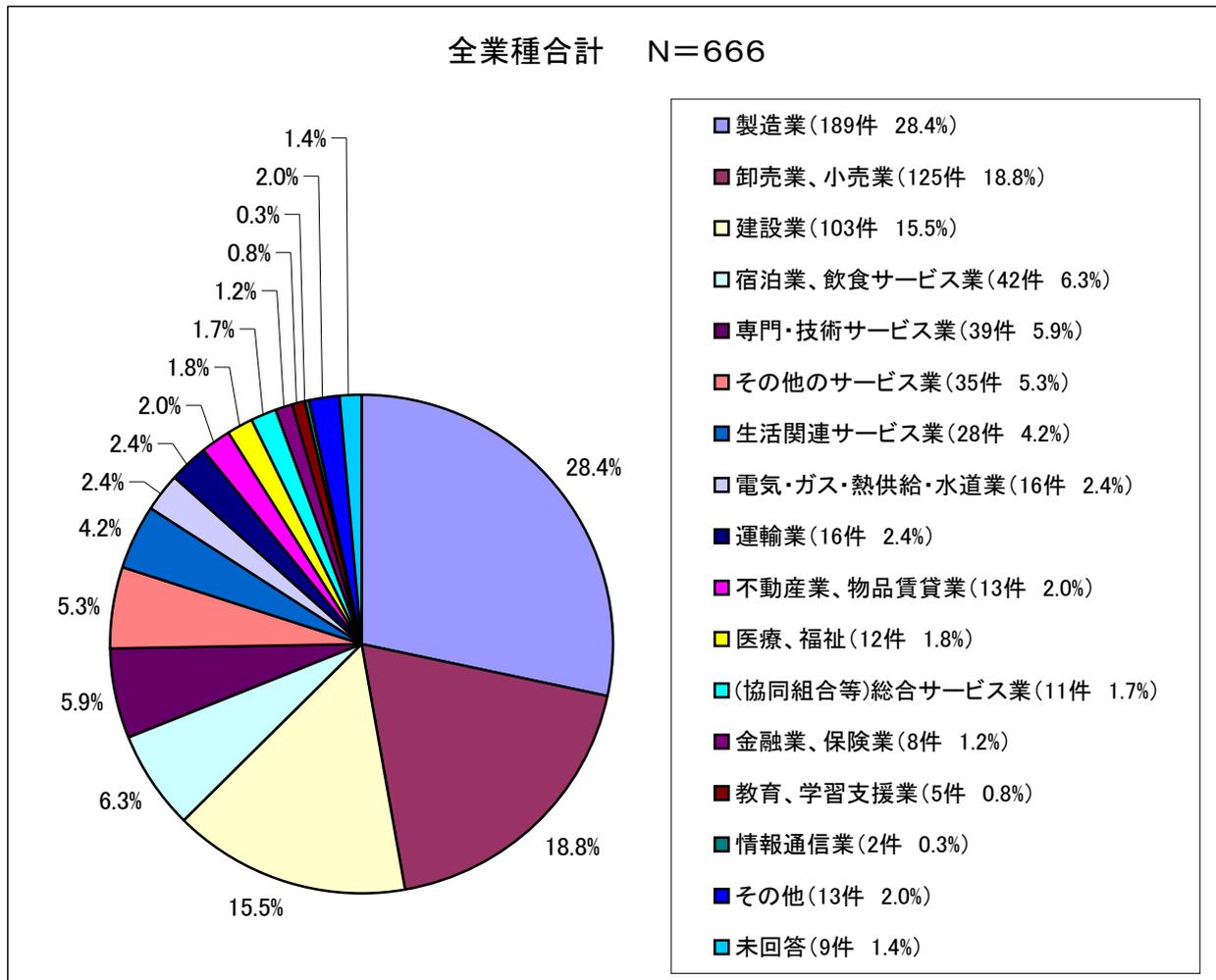
【本件担当】相模原商工会議所 経営支援課

TEL：042-753-8135

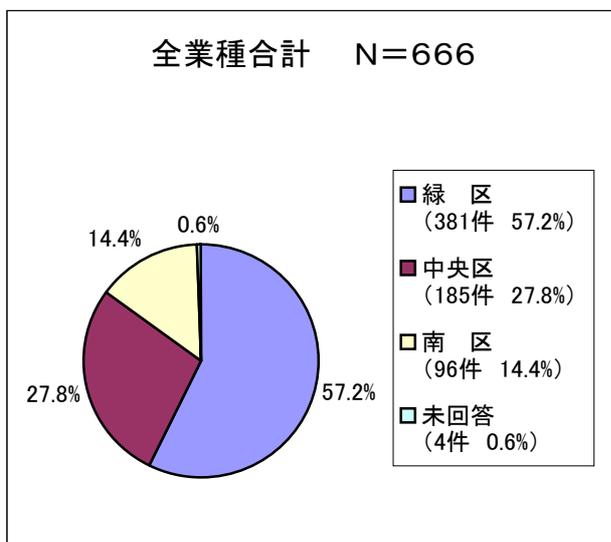
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3

平成24年度 中小企業の景況等実態に関する調査（7月実施）集計結果

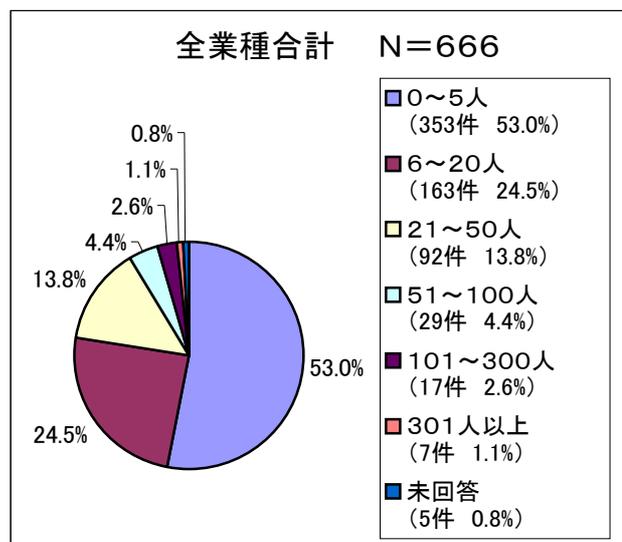
質問1. 業種は何ですか？ *日本標準産業分類による



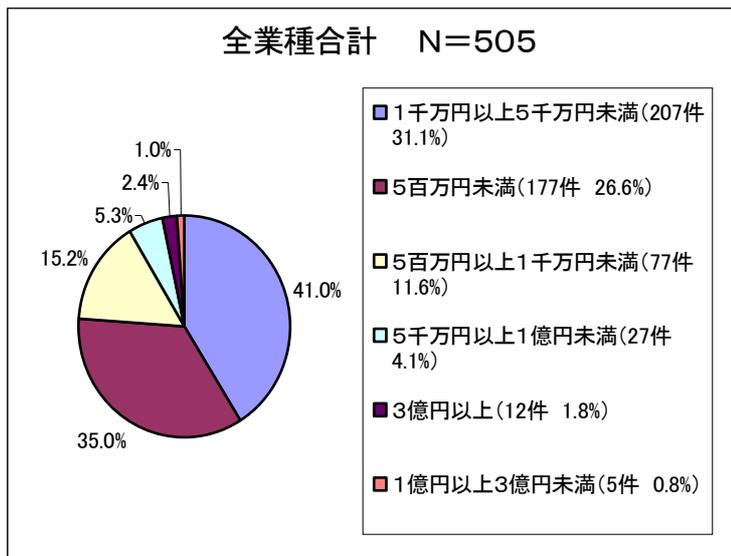
質問2. 所在地(区)はどこですか？



質問3. 従業員数（パートアルバイトを含む）は何人ですか？



質問4. (法人の場合) 資本金は？

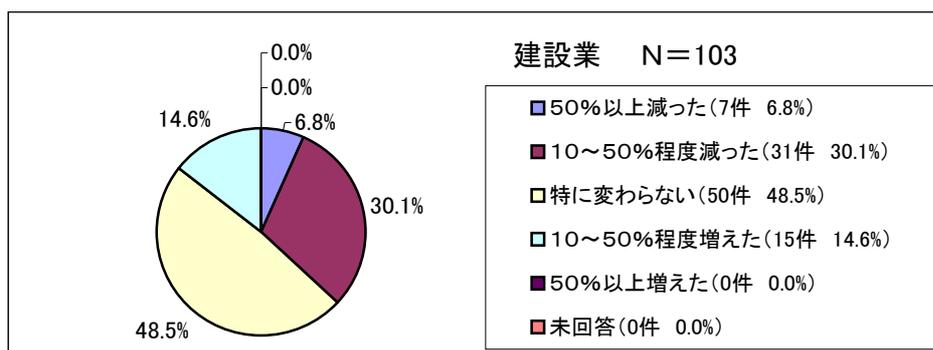
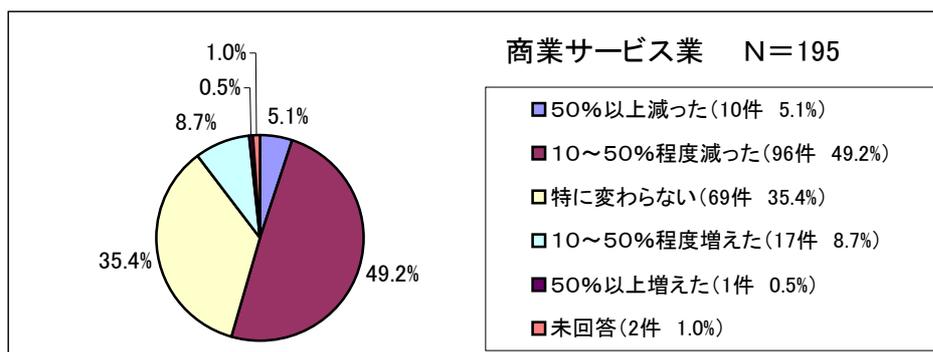
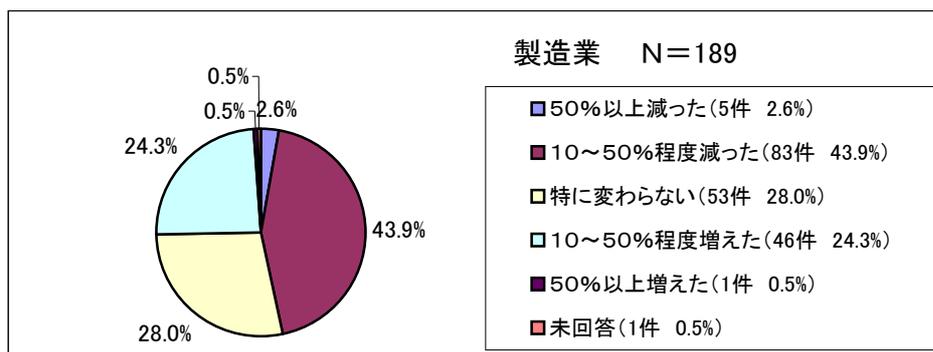
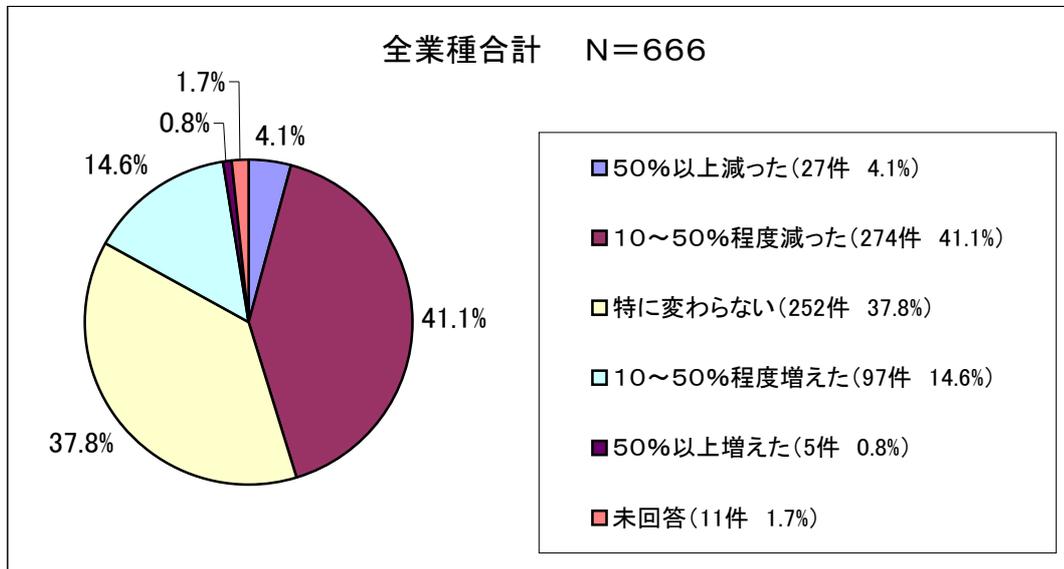


次ページより、全業種合計及び業種ごとの傾向をグラフ・表にて表示する。

なお、業種の傾向をつかむため、卸売業・小売業（125件）、宿泊業・飲食サービス業（42件）、生活関連サービス業（28件）をまとめて「商業サービス業」（195件）とした。

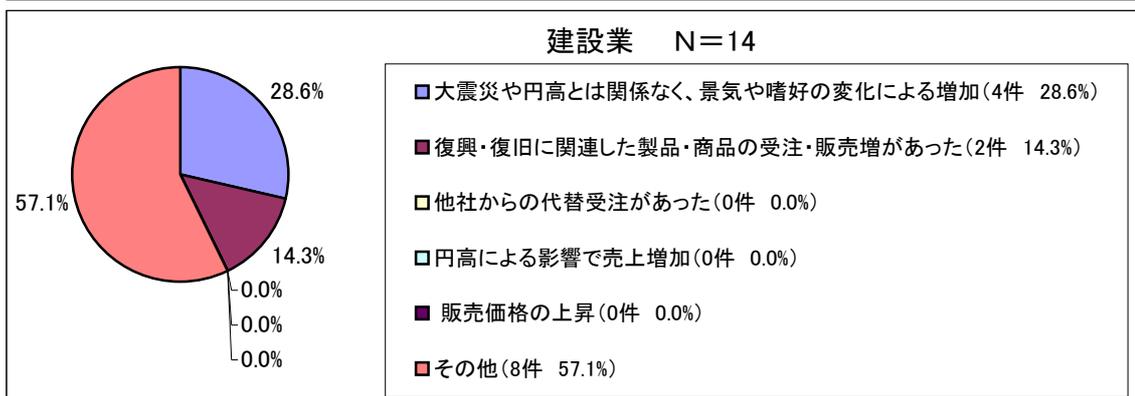
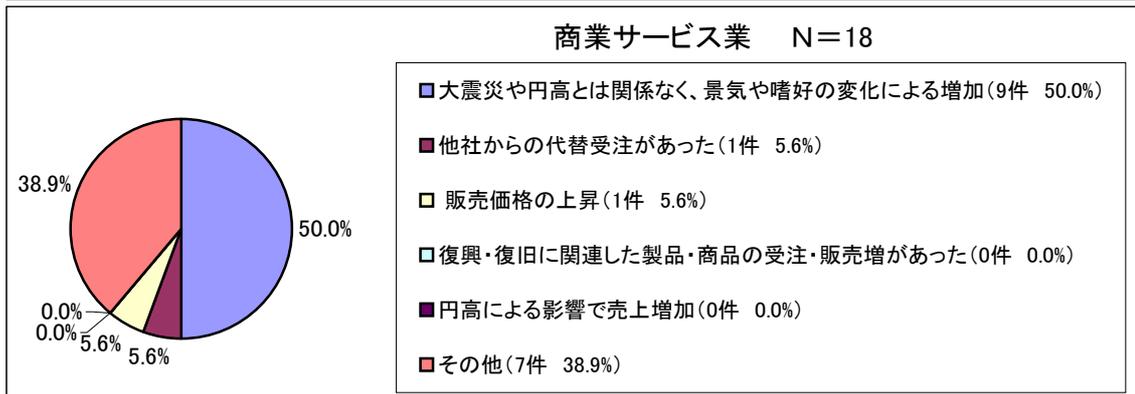
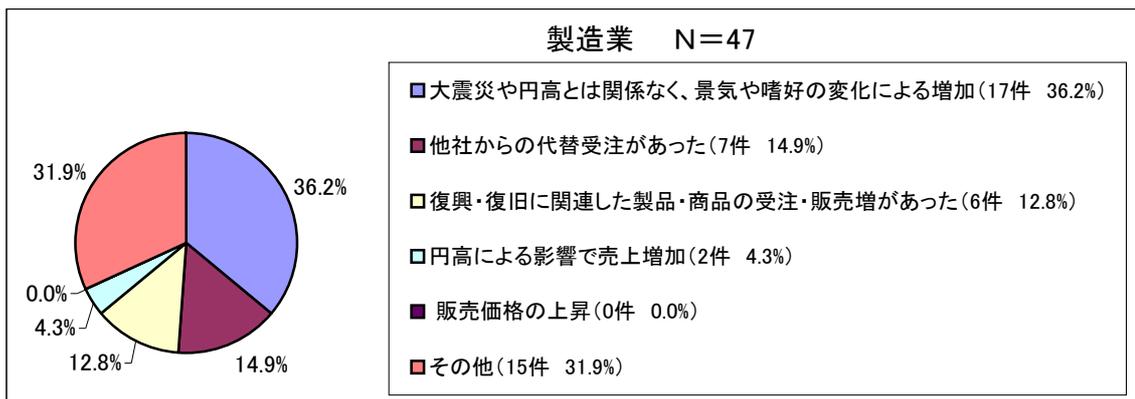
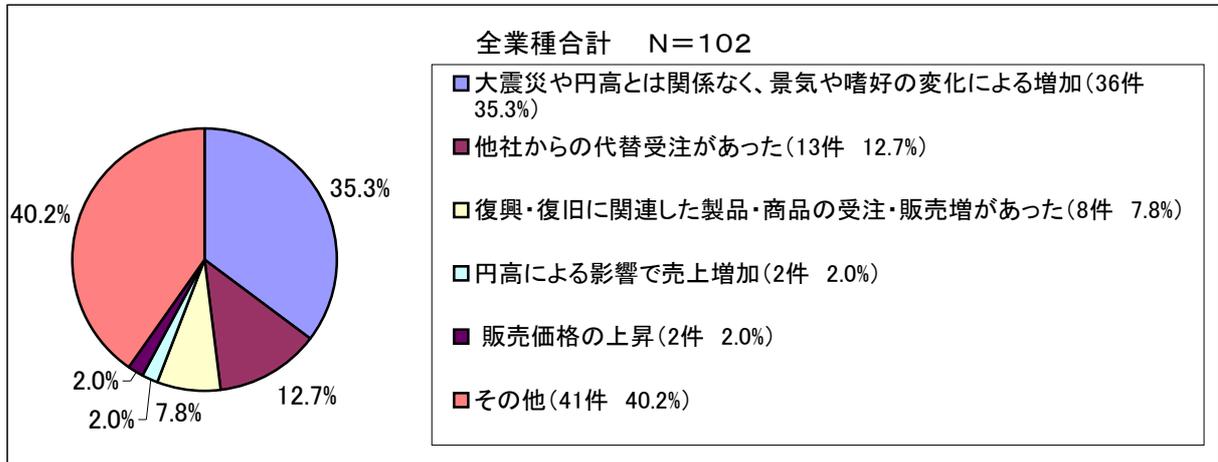
質問5. 昨年のこの時期に比べ、売上はどのような状況ですか？

全業種合計で「50%以上減った」、「10～50%程度減った」との回答が合わせると45.2%あった。
業種別では、商業・サービス業で「50%以上減った」、「10～50%程度減った」との回答が合わせると54.3%となっており、半数を上回っている。



質問5-2. 質問5で売上が「増えた」と回答した方にうかがいます。その理由は何だと思われますか？

全業種合計で、売上増加の理由として「その他」を除くと、「大震災とは関係なく、景気や嗜好の変化による増加」という回答が35.3%と最も多く、次いで「他社からの代替受注があった」の12.7%であった。
 また、その他の回答として、「昨年のこの時期は、震災による影響で悪かったのが元に戻った」という内容が多く見られた。
 業種別では、「大震災とは関係なく、景気や嗜好の変化による増加」という回答が、製造業で36.2%、商業・サービス業で50.0%、建設業で28.6%であった。

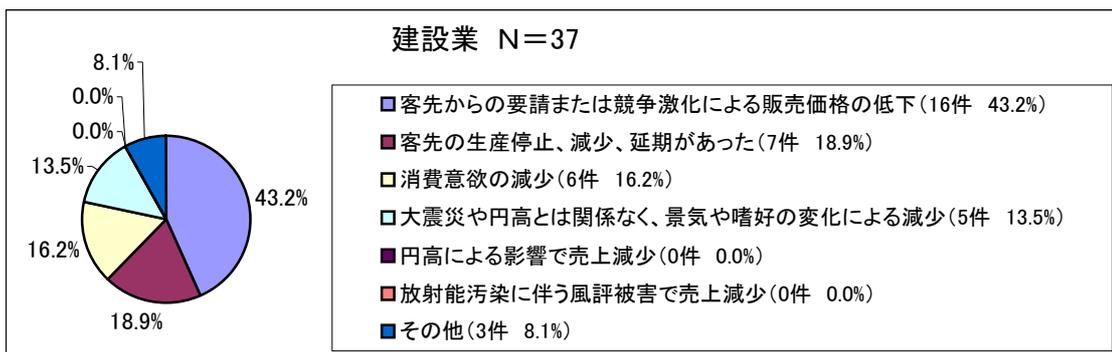
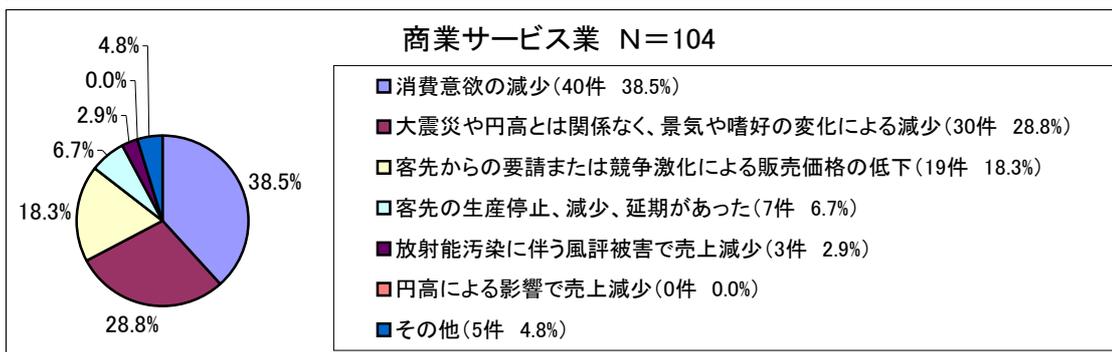
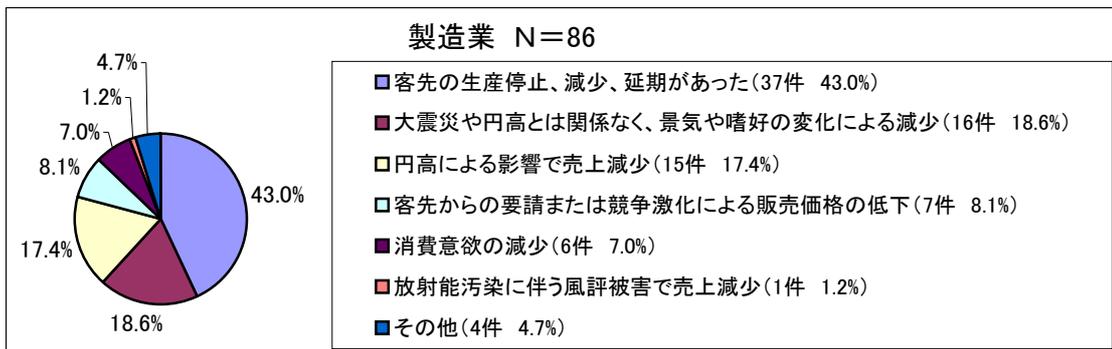
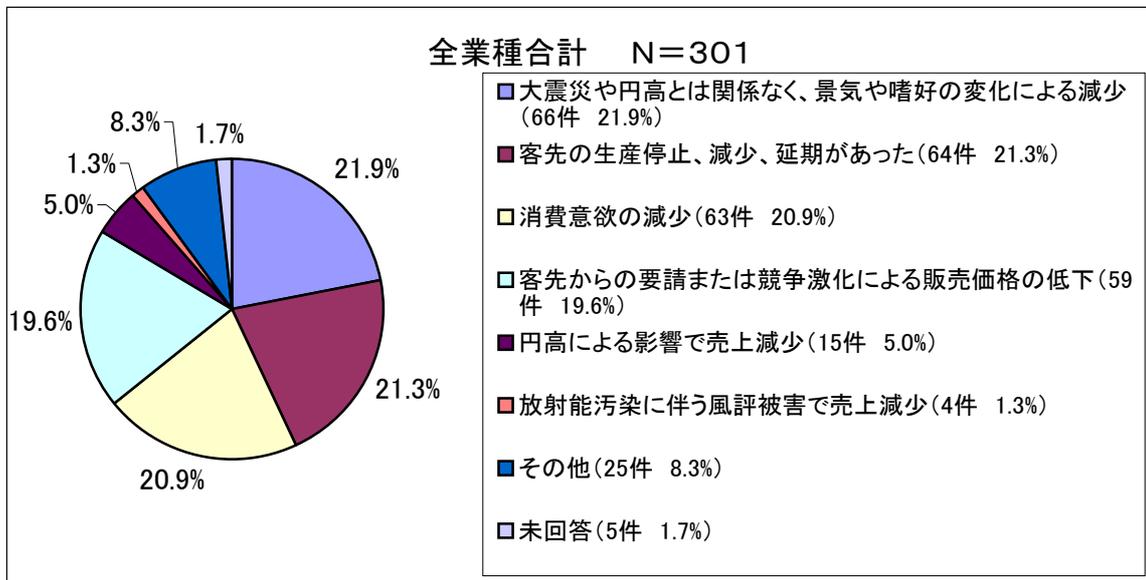


・その他の主な内容

・ 製造業	緑区	昨年、震災の影響で部品等揃わず生産が減少した。今年は戻った。
・ 製造業	緑区	新製品の売上による。
・ 製造業	緑区	注文増(取引先から)
・ 製造業	緑区	昨年在悪すぎた。H22年比84.4% H23年比145.2%
・ 製造業	緑区	当社製品の市場性が増加
・ 製造業	緑区	新規投資による効果
・ 製造業	緑区	以前受注があった会社からの受注が増えた。新規に製品が増えた。
・ 製造業	緑区	新顧客からの受注
・ 製造業	緑区	子会社の吸収合併による
・ 製造業	緑区	新規取引の拡大
・ 製造業	緑区	自動車UP、昨年在悪過ぎた。
・ 製造業	緑区	昨年11月より地域の温泉を開拓。温泉の売上増加分
・ 製造業	緑区	自動車関連の増産による
・ 製造業	中央区	タイの洪水による特需
・ 製造業	中央区	得意先様の新製品の増加
・ 建設業	緑区	機械を購入し、新しい仕事を始めた。
・ 建設業	緑区	昔からの元受より大量受注があったため
・ 建設業	緑区	受注先が増えた
・ 建設業	緑区	リフォームが増えて新築の仕事がありそう
・ 建設業	中央区	昨年は震災で工事が止まっていたが、今年動いているためだと感じている。又工事自体が現在増えているとは感じていない。
・ 建設業	中央区	落札できた(役所工事)
・ 建設業	南区	昨年3月の東北の地震後、現状維持もしくは、買い控え状況が続いていたが、3月以降に実働化してきたように思います。
・ 卸売業、小売業	中央区	宣伝広告費増加
・ 卸売業、小売業	中央区	昨年は自動車の生産ができなかった
・ 卸売業、小売業	中央区	大震災の影響で、昨年の広告収入が極度に落ち込み、今年度は回復基調にある。
・ その他のサービス業	緑区	助成金が出るようになった
・ その他のサービス業	緑区	お客増加
・ その他のサービス業	中央区	補助金や減税等
・ 専門・技術サービス業	緑区	事業拡大・営業
・ 専門・技術サービス業	緑区	公共事業の受注があった。
・ 宿泊業、飲食サービス業	緑区	移動販売だから、販売場所を変えたりイベントに積極的に参加した。
・ 宿泊業、飲食サービス業	緑区	昨年は震災の影響で来園者が減少したため。
・ 生活関連サービス業	緑区	キャンペーン等による集客と店販品の増収
・ 教育、学習支援業	緑区	企業努力です。
・ 教育、学習支援業	緑区	昨年度は震災の影響もあり減少となった。
・ 医療、福祉	緑区	自然に
・ その他	南区	新規得意先増加 原則 業者が選択しはじめた

質問5-3. 質問5で売上が「減った」と回答した方にうかがいます。その理由は何だと思われますか？

売上が減った理由として、全業種合計では「大震災とは関係なく、景気や嗜好の変化による減少」という回答が21.9%と最も多く、次いで「客先の生産停止、減少、延期があった」の21.3%であった。
業種別で最も多い回答は、製造業で「客先の生産停止、減少、延期があった」という回答が43.0%、商業・サービス業で「消費意欲の減少」という回答が38.5%、建設業で「客先からの要請または競争激化による販売価格の低下」という回答が43.2%であった。

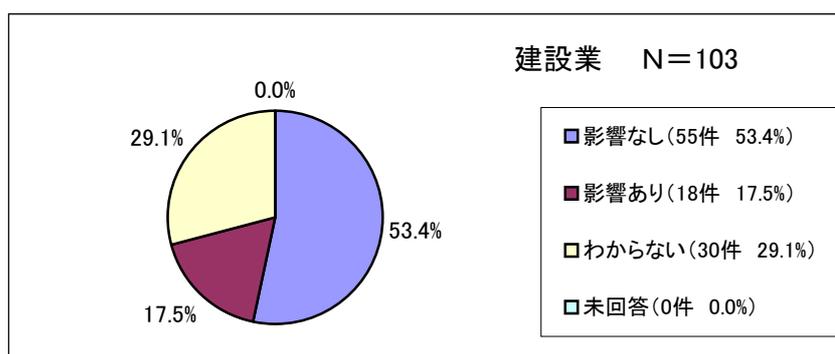
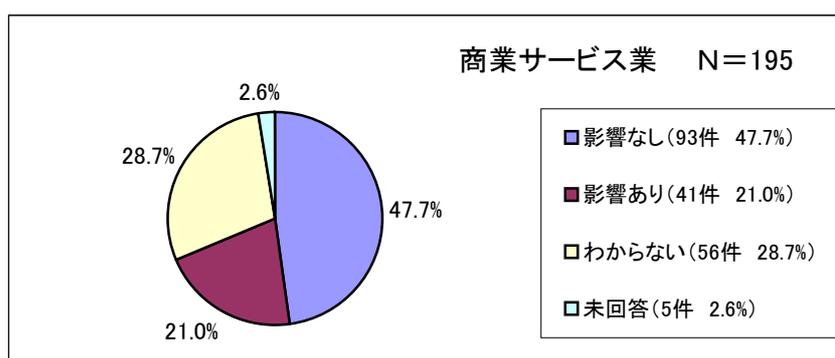
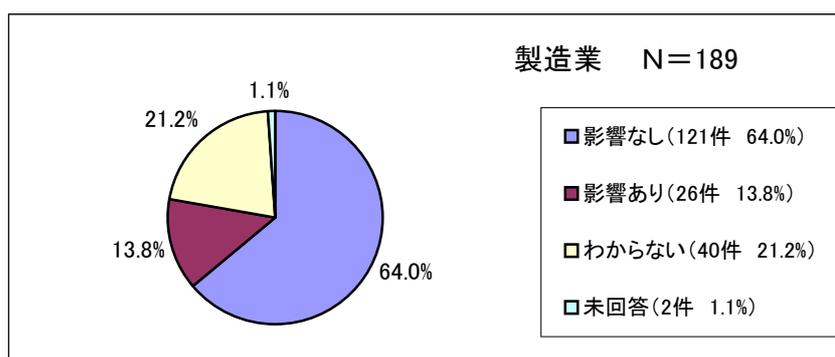
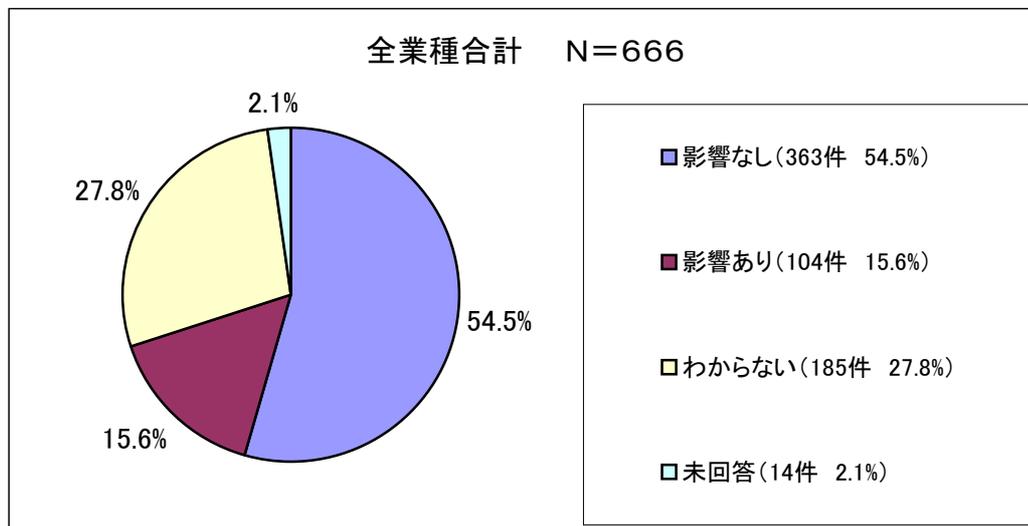


・その他の主な内容

・ 製造業	緑区	大震災や円高とは関係なく、景気や嗜好の変化による減少
・ 製造業	緑区	設備投資の減少
・ 製造業	緑区	親会社からの受注が減っている。
・ 製造業	中央区	ヨーロッパ・アメリカの不況
・ 製造業	南区	海外への生産移行
・ 製造業	南区	ユーロ安
・ 建設業	緑区	訪問販売・体調不良で訪問数が減った
・ 建設業	緑区	小売店の減少・廃業で設備をしない
・ 建設業	中央区	予算削減(公共事業)
・ 建設業	中央区	業務縮小
・ 建設業	中央区	公共工事の受注の減少
・ 卸売業、小売業	緑区	近くに大型店が出たため
・ 卸売業、小売業	緑区	競合店出店
・ 卸売業、小売業	緑区	帝京大学移転による人口減
・ 卸売業、小売業	中央区	客先からの要請または競争激化による販売価格の低下
・ 不動産業、物品賃貸業	緑区	工業団地周辺に賃貸物件あるが雇用の悪化で入居率が厳しい。
・ 不動産業、物品賃貸業	緑区	空室等の増加
・ 不動産業、物品賃貸業	中央区	仕入の不調
・ 不動産業、物品賃貸業	南区	販売用地の取得が難航した
・ 宿泊業、飲食サービス業	緑区	地元の人口の減少、不景気
・ 宿泊業、飲食サービス業	緑区	温泉汲み上げポンプ故障
・ 専門・技術サービス業	緑区	公共事業の減少。公共事業の発注が例年に比べて遅い。
・ 専門・技術サービス業	緑区	不明
・ 総合サービス業	緑区	駐車場利用数の減少
・ 総合サービス業	中央区	政令市に伴うWTO入札制度施行による
・ 電気・ガス・熱供給・水道業	緑区	地デジ化終了のため
・ 運輸業	南区	客先からの要請または競争激化による販売価格の低下
・ 金融業、保険業	緑区	客先からの要請または競争激化による販売価格の低下
・ 生活関連サービス業	緑区	価格低下と人の減少
・ その他のサービス業	緑区	役所の業務縮小による
・ その他のサービス業	南区	エコカー減税で買い替えの為、修理・車検が減った
・ その他のサービス業	南区	予算の見直し
・ その他	緑区	入札
・ その他	緑区	入札による仕事量確保が出来なかった。
・ その他	緑区	お客様の利用減少

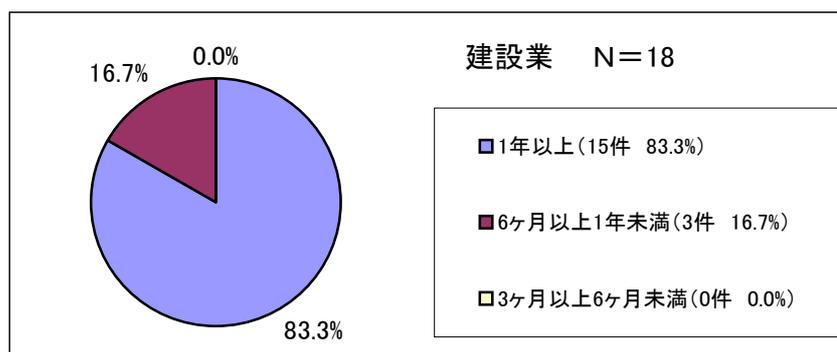
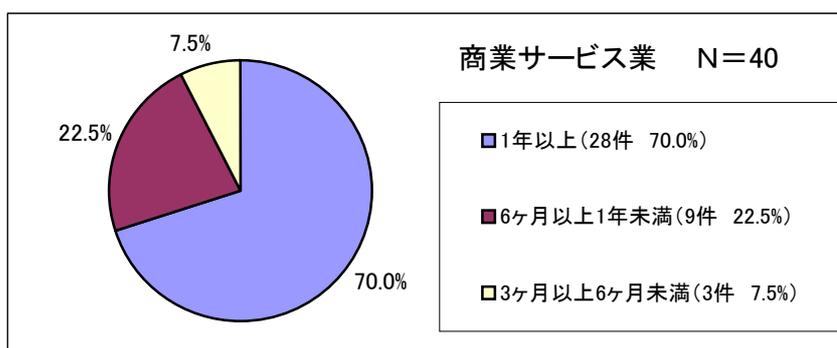
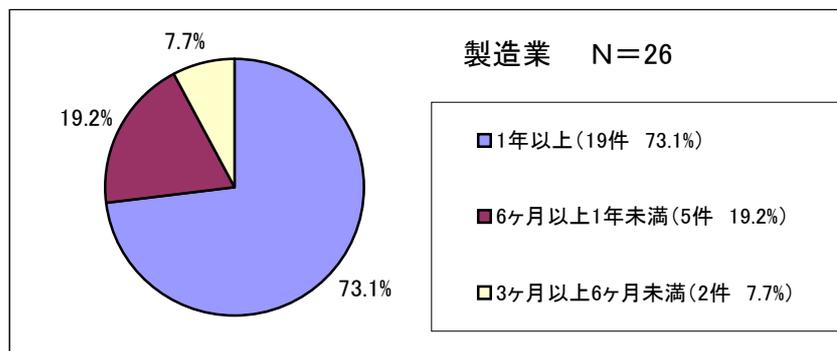
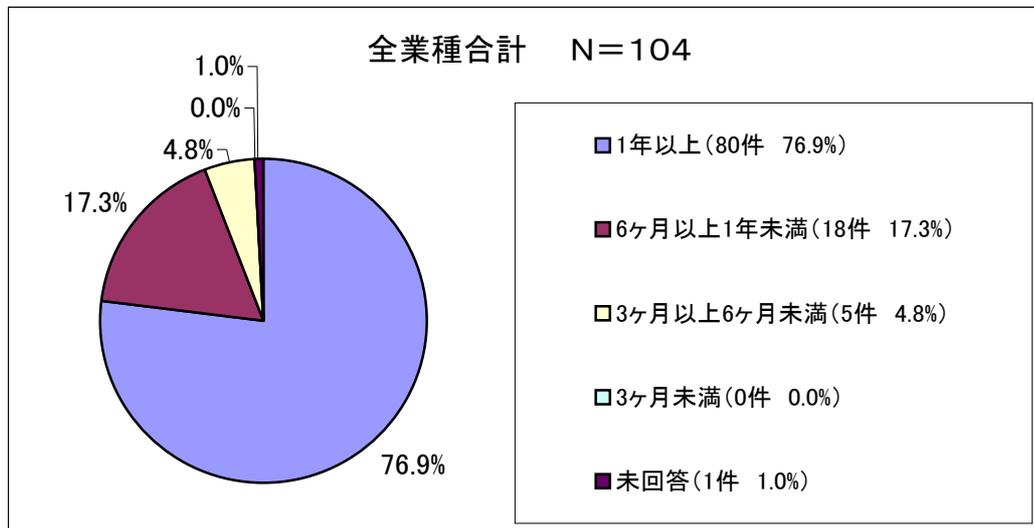
質問6. 東日本大震災の発生による影響が自社に現在も残っていますか？

全業種合計で「影響なし」という回答が54.5%、「影響あり」という回答が15.6%あり、「影響なし」が半数を上回っている。
業種別では、「影響なし」という回答が、製造業で64.0%、商業・サービス業で47.7%、建設業で53.4%であった。



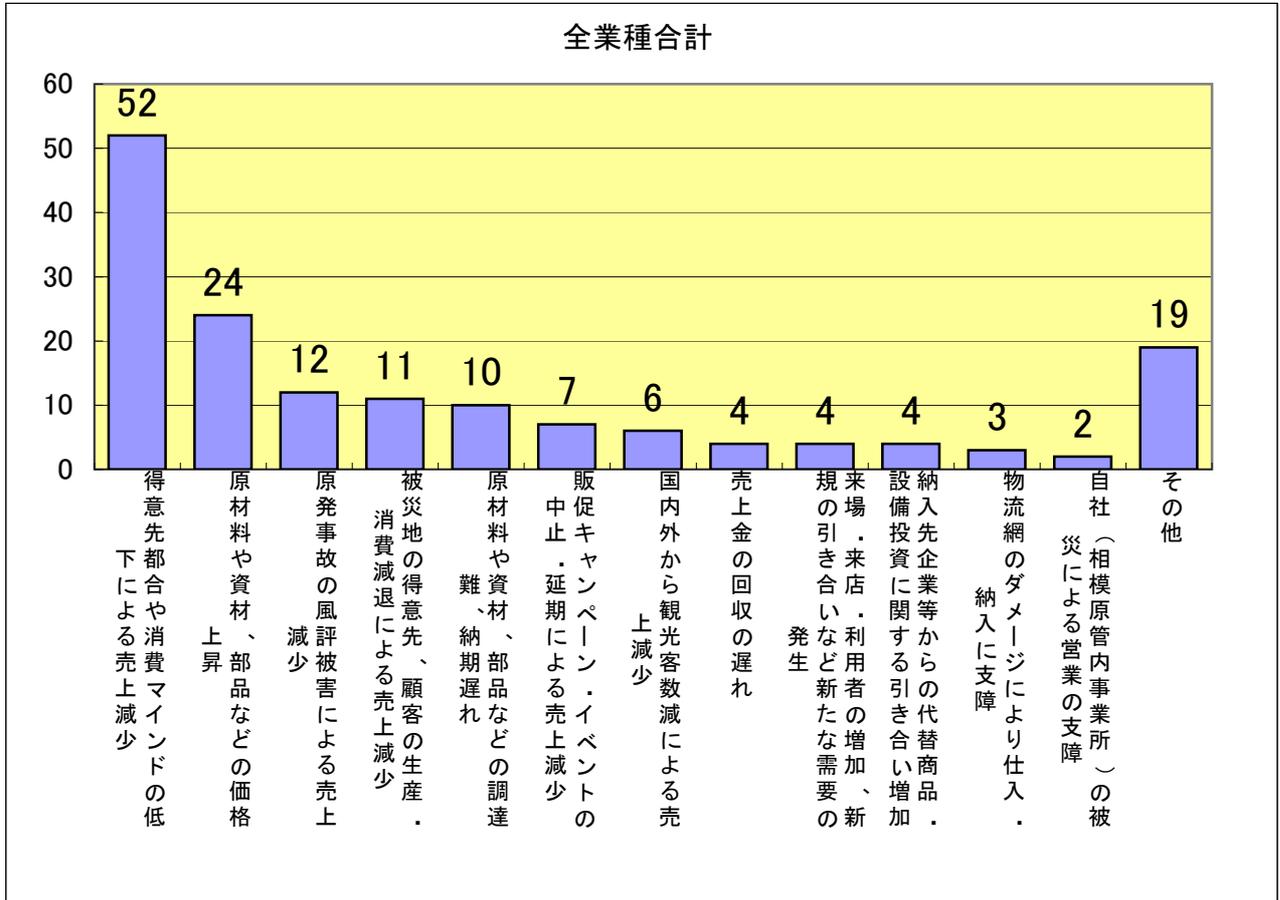
質問6-2. 質問6で「影響あり」と回答した方にうかがいます。その影響はどの程度続くと思われ
ますか？

全業種合計で「1年以上」という回答が76.9%で最も多く、次いで「6ヶ月以上1年未満」という回答
の17.3%であった。
業種別では、「1年以上」という回答が、製造業で73.1%、商業・サービス業で70.0%、建設業で
83.3%であった。



質問6-3. 質問6で「影響あり」と回答した方にうかがいます。震災の影響として、現在も自社に残っていると思われる項目を選んでください。(複数回答)

全業種では「得意先都合や消費マインドの低下による売上減少」という回答が52件で最も多く、次いで「原材料や資材、部品などの価格上昇の24件であった。
なお、この傾向は、業種による違いが見られなかった。

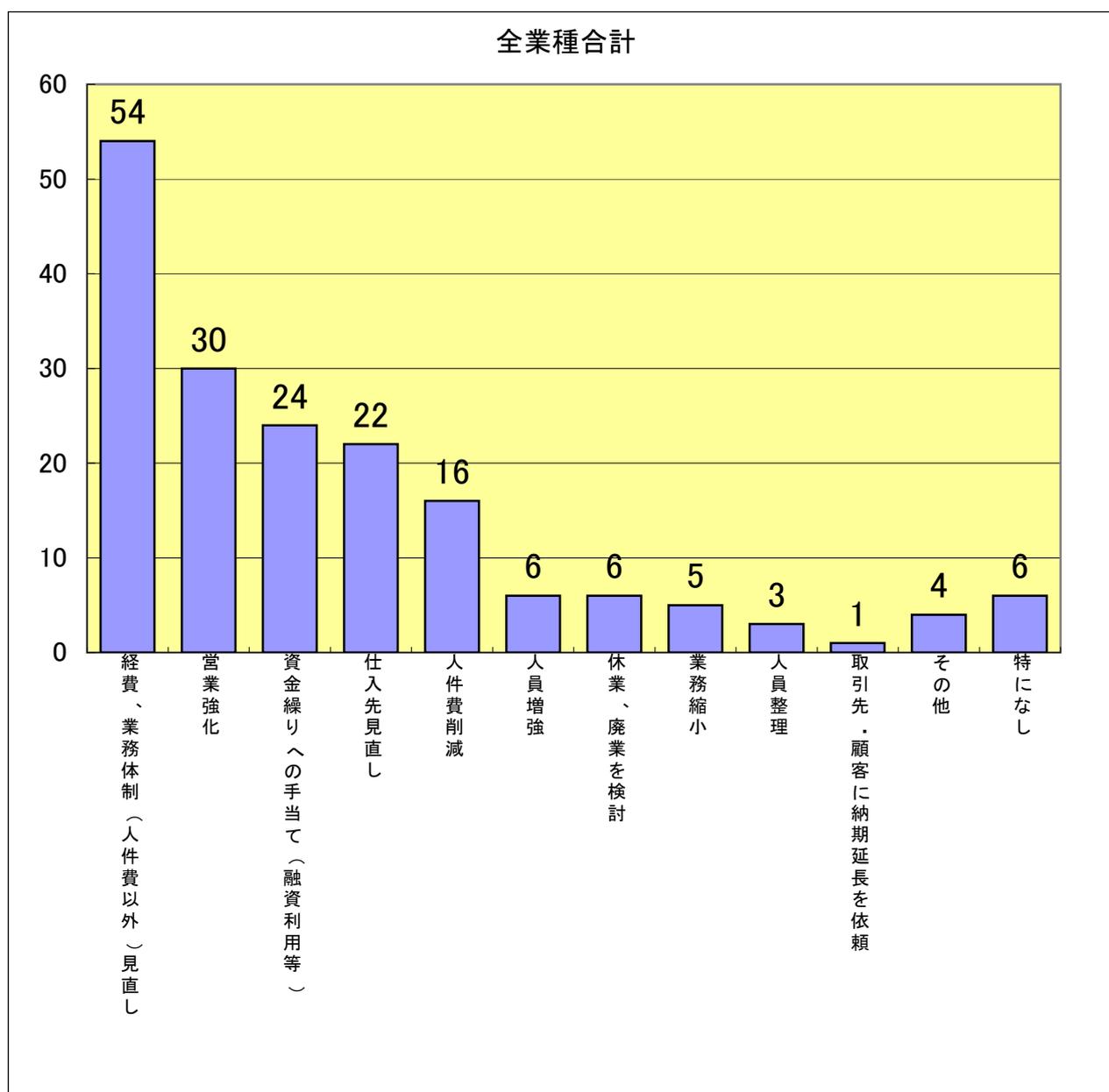


・その他の主な内容

卸売業、小売業	緑区	福島県産農産物の生産減少
卸売業、小売業	緑区	売れない
卸売業、小売業	緑区	節電に対しての正しい知識がないために商売に悪い影響が出ている。
卸売業、小売業	緑区	地震がなくなる限り売上減少は続くと思います。
卸売業、小売業	中央区	震災時の赤字(マイナス)分
卸売業、小売業	中央区	美術品であるため、生活の中での優先順位が低い。
卸売業、小売業	南区	消費者の買い物に対する心理的変化
建設業	緑区	予算等国の運営
建設業	中央区	建設業において協力業者の減少(職人不足)復興・復旧に職人が回っている。
建設業	南区	日本経済のマイナス
建設業	南区	公共事業の減少
製造業	緑区	輸出製品が原発
製造業	中央区	福島工場(飯館村)の汚染による使用不能
金融業、保険業	中央区	復興需要
金融業、保険業	中央区	震災に伴う間接影響から昨年度同期は資金需要旺盛であったが、反面、今年度は同制度利用一巡から需要は落ち込んでいる。
宿泊業、飲食サービス業	緑区	パブル以降月収減少21年間続いている
宿泊業、飲食サービス業	緑区	昨年に続き、消費意欲の減少だと思います。
医療、福祉	緑区	電力不足・節電の要請
その他	緑区	学校等の行事の減少

質問6-4. 質問6で「影響あり」と回答した方にうかがいます。お答え頂いた影響への対応として、現在 行っていること、また、検討している項目を選んでください。(複数回答)

全業種合計では「経費、業務体制（人件費以外）見直し」という回答が75件と最も多く、次いで「資金繰りへの手当て」の59件であった。
 なお、この傾向は業種による違いが見られなかった。

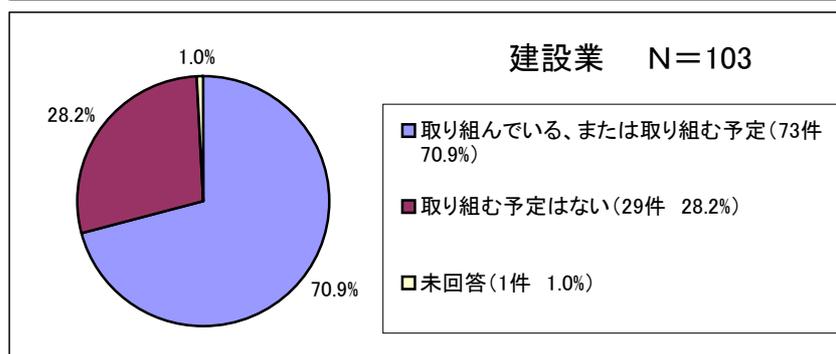
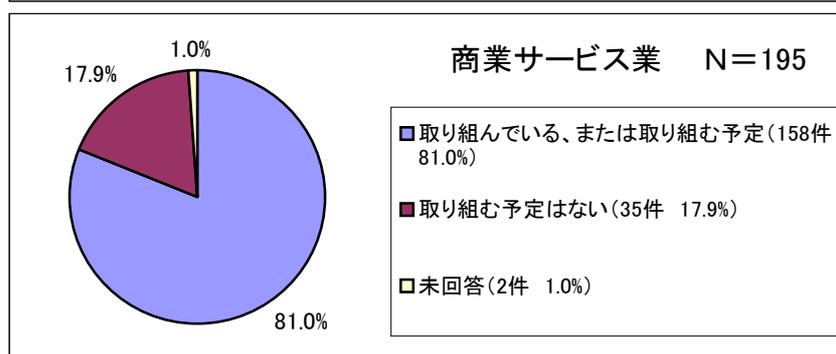
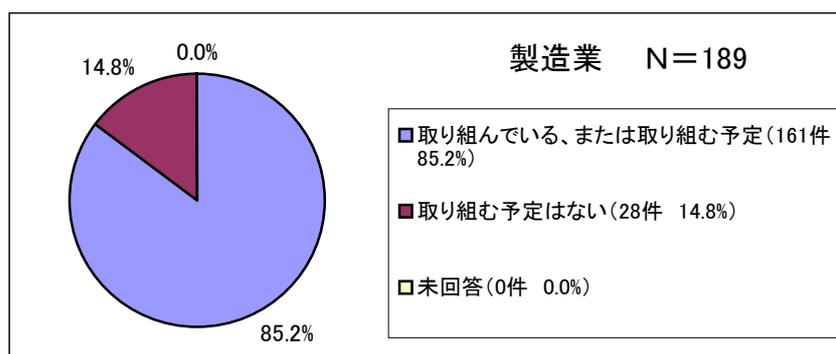
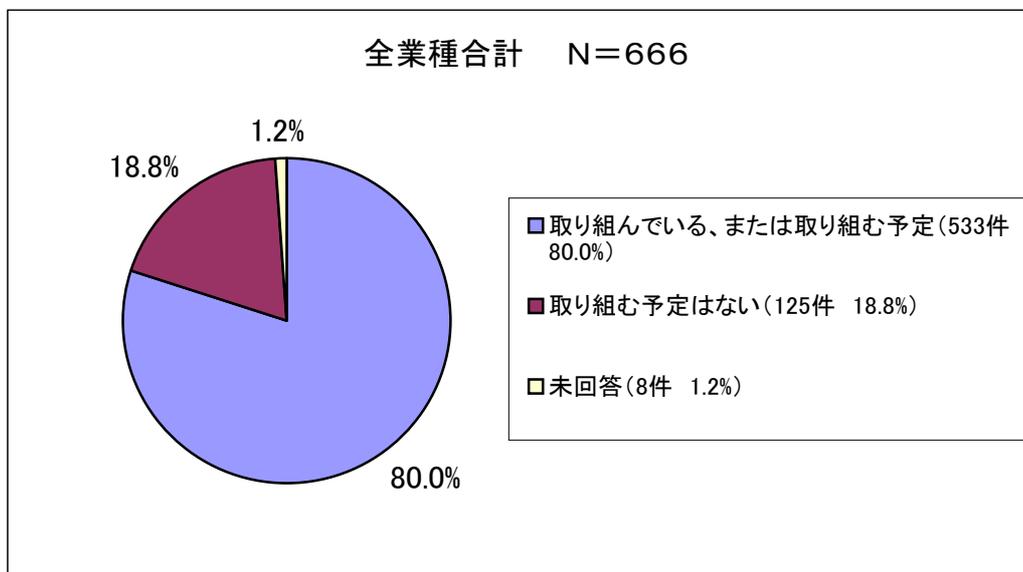


・その他の主な内容

・ 建設業	南区	企業の譲渡
・ 製造業	緑区	新製品の開発
・ 製造業	中央区	仮設工場での一部稼働、倉庫借り
・ 卸売業、小売業	中央区	仕入販売、原発風評
・ 宿泊業、飲食サービス業	緑区	高齢になると融資不可
・ 医療、福祉	緑区	照明・エアコンなどの節電

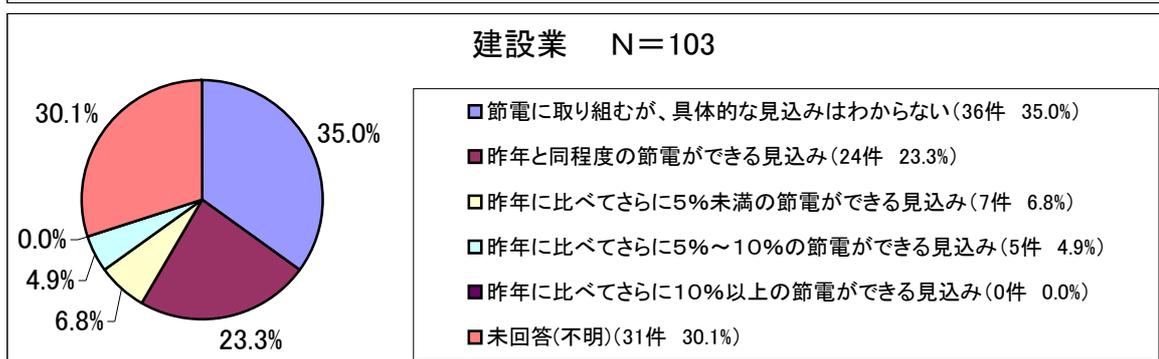
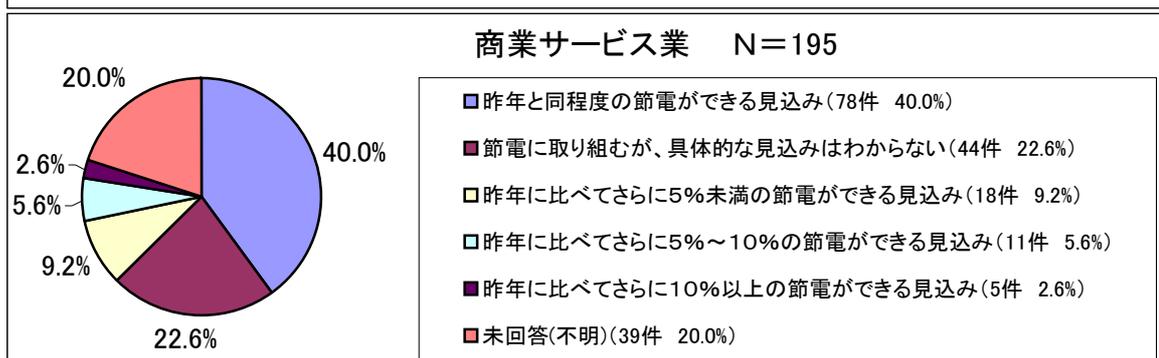
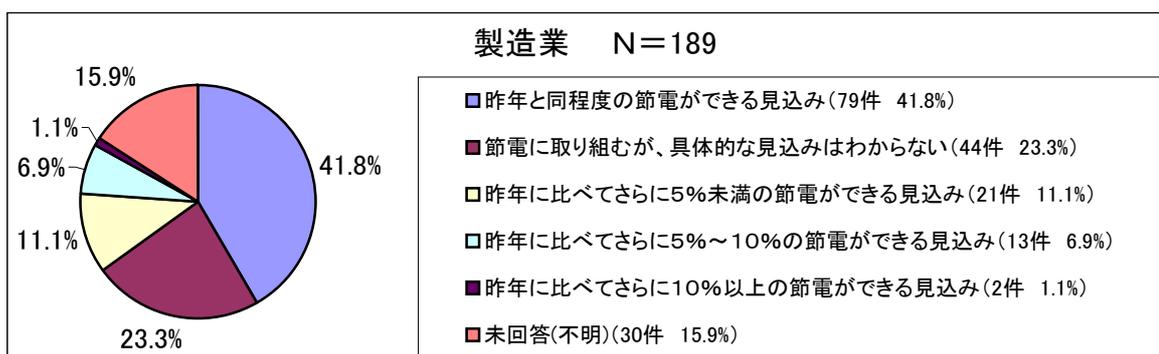
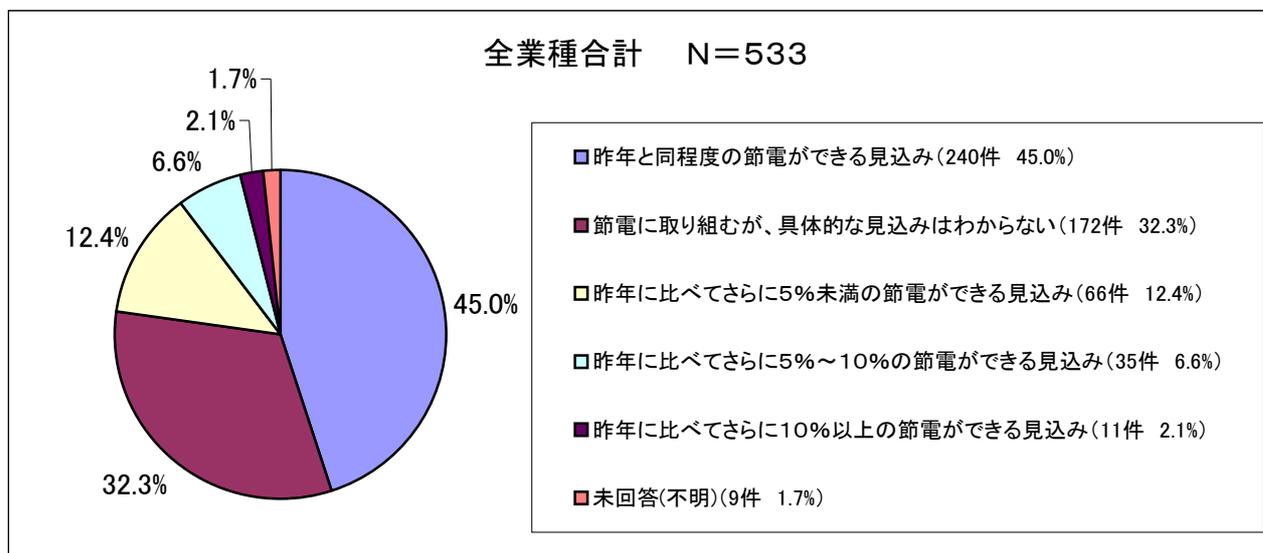
質問7. 御社の今夏の節電への取組みについてうかがいます。

全業種合計で「取り組んでいる、または取り組む予定」という回答が80.0%、「取り組む予定はない」という回答が18.8%であった。
業種別では、「取り組んでいる、または取り組む予定」という回答が、製造業で85.2%、商業・サービス業で81.0%、建設業で70.9%であった。



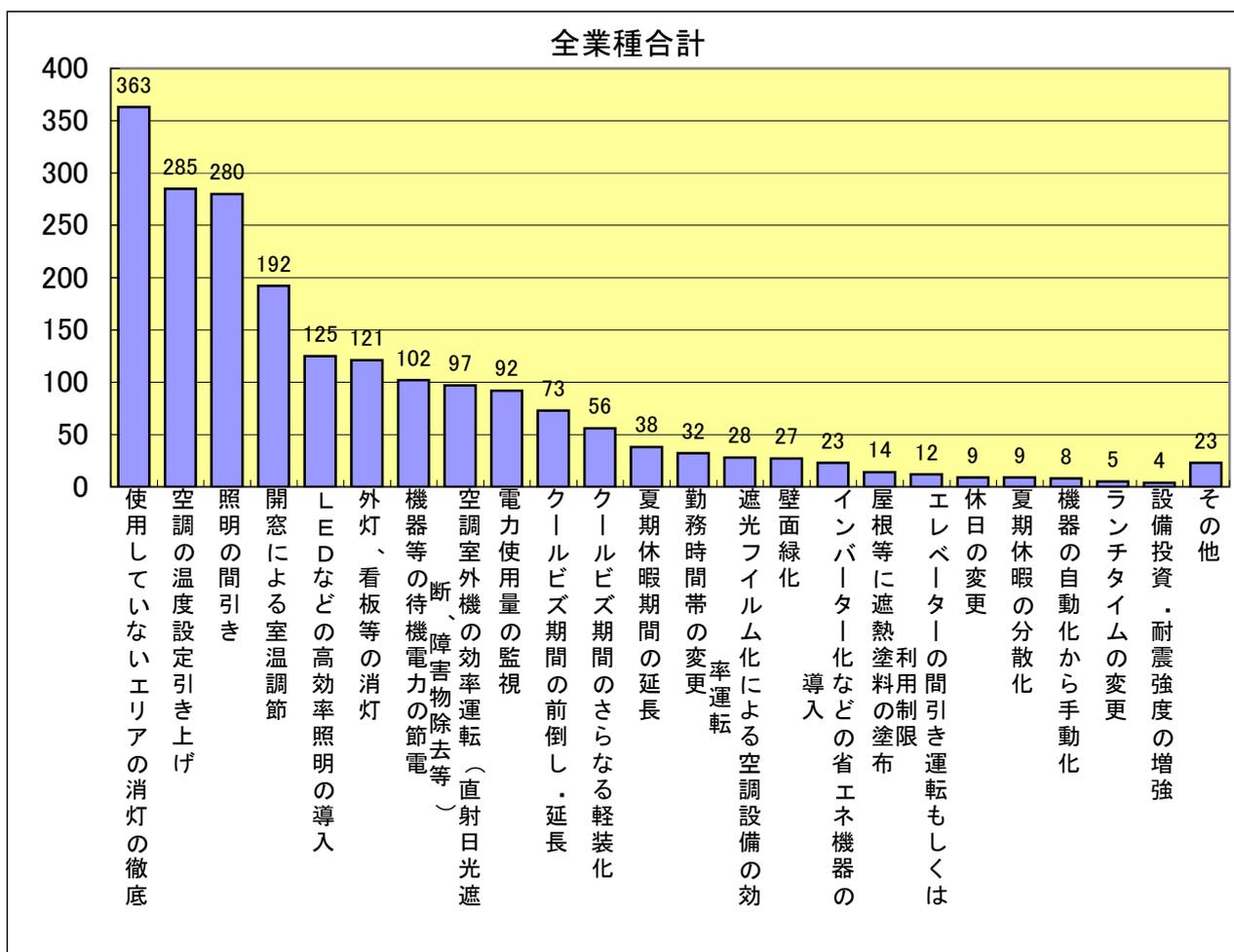
質問7-2. 質問7で「取り組んでいる、または取り組む予定」と回答した方にうかがいます。今夏の節電への取組みの見通しについて選んでください。

全業種合計で「昨年と同程度の節電ができる見込み」という回答が45.0%で最も多く、次いで「節電に取り組むが、具体的な見込みはわからない」という回答の32.3%であった。
業種別で最も多い回答は、製造業と商業・サービス業で「昨年と同程度の節電ができる見込み」という回答がそれぞれ41.8%、40.0%であり、建設業で「節電に取り組むが、具体的な見込みはわからない」という回答が35.0%であった。



質問7-3. 質問7で「取り組んでいる、または取り組む予定」と回答した方にうかがいます。現在、取組まれている、またはこれから取組む予定の節電対策を選んでください。(複数回答)

全業種では「使用していないエリアの消灯の徹底」という回答が363件で最も多く、次いで「空調の温度設定引き上げ」の285件であった。
業種別では、製造業と建設業で「使用していないエリアの消灯の徹底」が、商業・サービス業で「照明の間引き」がそれぞれ最も多い回答であった。



製造業

順位	項目	回答数
1	使用していないエリアの消灯の徹底	127
2	照明の間引き	93
3	空調の温度設定引き上げ	91

商業・サービス業

順位	項目	回答数
1	照明の間引き	93
2	使用していないエリアの消灯の徹底	91
3	空調の温度設定引き上げ	72

建設業

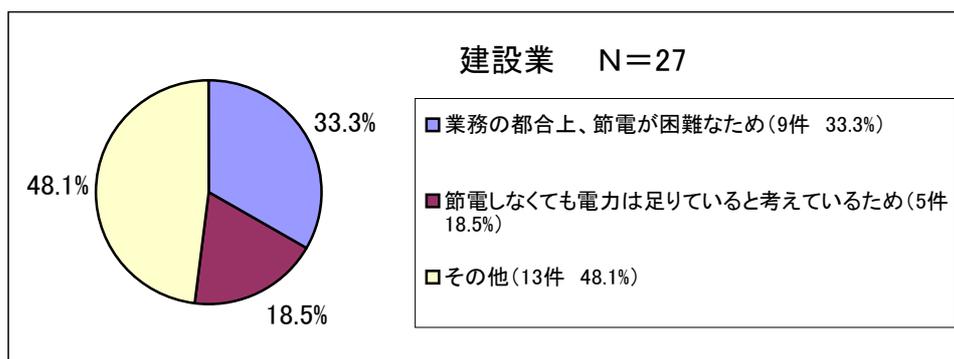
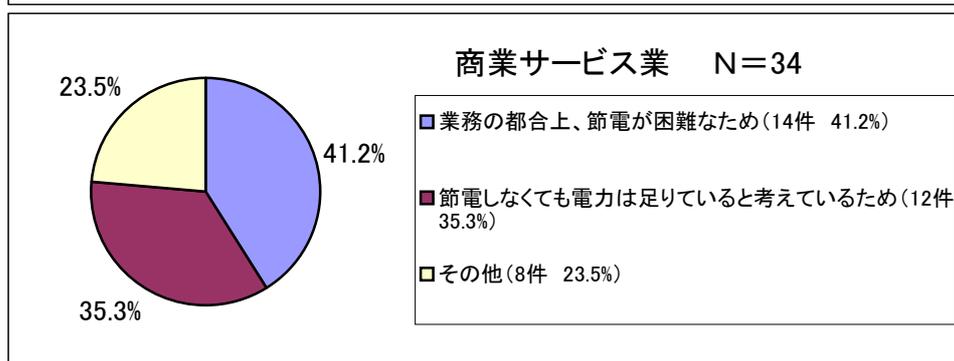
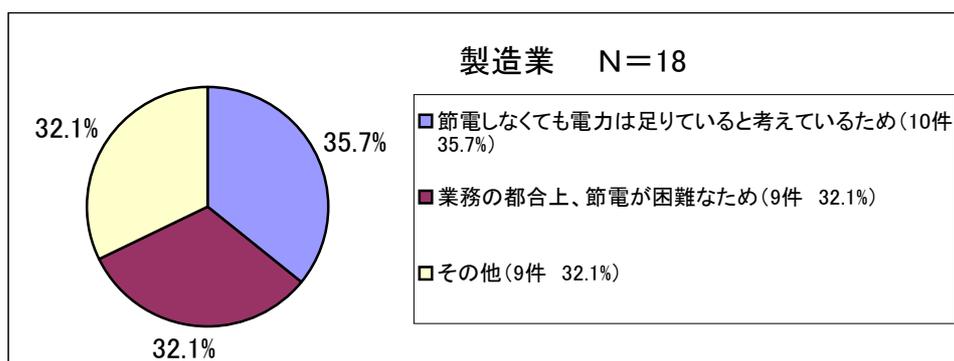
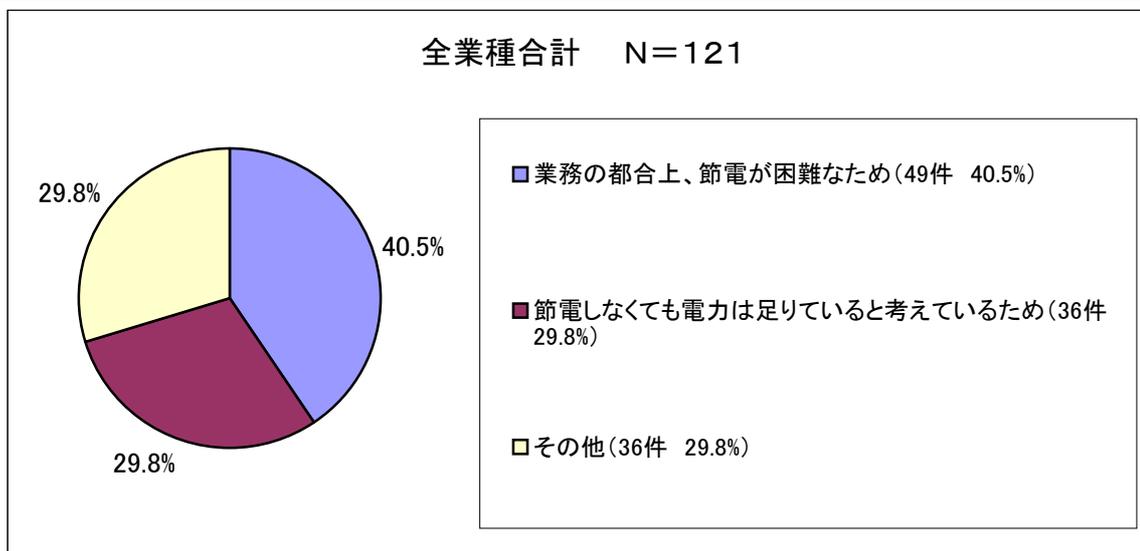
順位	項目	回答数
1	使用していないエリアの消灯の徹底	53
2	空調の温度設定引き上げ	45
3	照明の間引き	32

・その他の主な内容

・ 製造業	緑区	夜間への生産移行
・ 製造業	緑区	屋根によらず置く
・ 製造業	緑区	昨年まではクーラー使用時間を最短にし、扇風機使用
・ 製造業	中央区	エアコンの新規機種への交換
・ 製造業	中央区	大型クーラーできるだけ停止→スポットクーラーを購入
・ 製造業	中央区	自家用発電機運用
・ 製造業	南区	コジェネ、ガス発電の使用
・ 製造業	南区	太陽光パネル増設
・ 卸売業、小売業	緑区	深夜電力を蓄積して昼間使用
・ 卸売業、小売業	中央区	倉庫に尚、物をいっぱい入れる。低温倉庫
・ 卸売業、小売業	中央区	契約アンペアの低アンペア化
・ 卸売業、小売業	中央区	空調を使わない部屋を設ける
・ 卸売業、小売業	南区	営業時間の短縮等
・ 建設業	緑区	熱中症予防と冷房との兼ね合い。
・ 建設業	中央区	太陽光の利用
・ 専門・技術サービス業	緑区	昼休みの消灯。ディスプレイの輝度を下げる。
・ 専門・技術サービス業	中央区	クーラー無し
・ 電気・ガス・熱供給・水道業	緑区	太陽光発電取り付け
・ 情報通信業	中央区	営業時間の短縮
・ 教育、学習支援業	緑区	扇風機
・ 医療、福祉	中央区	太陽光発電
・ その他のサービス業	中央区	市の方で補助金等でもあれば、LED照明灯なども切り替えたいと思います。
・ その他	緑区	高齢者福祉サービス事業所なので、24時間体制です。 こまめな手動等の作業になるしかありません。

質問7-4. 質問7で「取り組む予定はない」と回答した方にうかがいます。どのような理由によるものですか？

全業種合計で「業務の都合上、節電が困難なため」という回答が40.5%で最も多く、次いで「節電しなくても電力は足りていると考えているため」という回答の29.8%であった。業種別で最も多い回答は、製造業で「節電しなくても電力は足りていると考えているため」という回答が35.7%、商業・サービス業と建設業で「業務の都合上、節電が困難なため」という回答がそれぞれ41.2%、33.3%であった。



・その他の主な内容

・建設業	緑区	現場作業が多い
・建設業	緑区	事務所のみにつき。
・建設業	緑区	電気を使用する仕事ではないし、事務所のエアコンもいつも使っていない。
・建設業	緑区	仕事の減少で電力の使用がほとんど無い。
・建設業	緑区	前年と同様に節電に努めている。
・建設業	緑区	現場電気使用
・建設業	中央区	直接関係なし
・建設業	中央区	体調が悪くなるため。
・建設業	中央区	電気を使う業種ではない
・建設業	中央区	無駄使いしているとは思っていない。
・建設業	南区	節電するほど電力は使っていない。
・建設業	南区	業務上電力は余り使用しないため。
・建設業	南区	空調設備を備えた工場ではないため
・製造業	緑区	電力が気になる程仕事がない
・製造業	緑区	10年以上前から節電している。
・製造業	緑区	仕事が無く、加工する機械が動いていない為、電気代もここ3ヶ月ほど、通常の半分以下。
・製造業	緑区	受注減少のため、稼働日数及び時間の減少
・製造業	緑区	もともと電気はあまり使用していない。
・製造業	緑区	仕事の予定が無いため
・製造業	中央区	昨年、照明等完了のため
・製造業	中央区	機械の休止。注文が少ない
・製造業	南区	家庭用電源で足りるので、仕事の減少のときは多少使いません。クーラー・エアコン・ストーブ等が一番使うと思います。
・卸売業、小売業	緑区	すでに必要最小限の電力しか使用していない。
・卸売業、小売業	緑区	前々から節電をしている。
・卸売業、小売業	緑区	自動販売機のための営業なので
・卸売業、小売業	緑区	車での行商のため
・卸売業、小売業	緑区	食肉販売のため商品の鮮明×
・卸売業、小売業	緑区	電力使用が少なく節電効果が期待されない。
・卸売業、小売業	中央区	パソコンと扇風機と最小限の蛍光灯しか使用していないため。
・その他のサービス業	緑区	前から節電しているから
・その他のサービス業	緑区	節電量が多くないため
・その他のサービス業	南区	仕事が少なく機械を動かすことが余りない。
・専門・技術サービス業	中央区	今以上に節電しようがない。
・宿泊業、飲食サービス業	南区	少量使用に付(従前より)
・生活関連サービス業	南区	お客様のいない時一部消灯している。
・医療、福祉	緑区	出向き業務にて必要ない
・総合サービス業	中央区	融通し合う